

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	分娩誘発の成功予測因子となる誘発前超音波断層法所見についての後ろ向き記述的研究		
1. 研究の目的と方法	現在、計画分娩を行う際に帝王切開となる可能性の評価は、内診で子宮口の開きなどをみることで行うのが一般的ですが、それを超音波検査で代用できないか検討することを目的としています。今回の研究では対象の機関に当院で分娩誘発前に超音波検査を受けた初産婦さんが帝王切開になったかどうかと超音波検査のデータに関係があるかを検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2022年6月～2023年9月の期間に東京慈恵会医科大学附属病院で計画分娩をされた初産婦で分娩誘発前に超音波検査を受けた方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、身長、体重、妊娠中の喫煙の有無、円錐切除の既往歴の有無、経妊産、妊娠方法、産科合併症の有無（妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、胎児発育不全、高血圧合併妊娠、羊水量異常）など 分娩誘発の薬剤、分娩方法、無痛分娩の有無、誘発日数、児体重など	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	長尾 健
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年1月頃～		

【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：助教 長尾 健（ながお たけし） 電話番号：03-3433-1111（内線 3521） 対応時間：平日 09：00 ～ 16：00
-----------------	--

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。